

金沢工業大学 革新複合材料研究開発センターと 台湾 Plastics Industry Development Center が協力協定を締結

Written by Yosuke Ohnishi on December 20, 2017

2017年12月5日(火)、金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター（以下 ICC）と台湾の Plastics Industry Development Center（以下 PIDC）は、複合材料開発分野における技術交流と技術情報共有に関する協力協定(以下 MOU)を締結した。台湾台中市にある PIDC にて開催された調印式では、PIDC 成果発表&技術交流会も併せて行われ、金沢工業大学から ICC 鶴澤潔所長を含む3名、PIDC および台湾企業から約100名が出席した。

PIDC は、台湾でのプラスチック加工業の設備改善への協力、生産技術と製品品質の向上、製造方法の改良、新製品開発、および国際間の技術交流推進による競争力強化を目的として、1992年に半官半民で設立された研究開発センターである。

台湾のプラスチック業界は98%以上が中小企業であり、単独で研究開発、検査、品質向上の資金および人的資源を確保することが困難であるため、PIDC が研究開発および技術教育における中心的な役割を果たす。

今後、PIDC との共同研究を通して技術開発を加速するとともに、ICC の台湾での活動および、PIDC の日本での活動を相互に支援していくことで、複合材料の実用化におけるさらなる促進が期待される。



(左)開会の辞を述べる PIDC 邱政文副総経理

(中)署名したMOUを掲げる ICC 鶴澤潔所長と PIDC 蕭耀貴総経理

(右)ICC 代表式辞を述べる鶴澤潔所長